

武蔵コーポレーション 第35節 9.16 [SAT] VS

**のんびりタイム**  
-グッズやグルメを楽しもう!  
15:50 フレンドリーマッチ  
! 大宮アルディージャ  
16:25 スクール生による対戦

**エンジョイタイム**  
-ピッチイベントを楽しもう!  
16:35頃 アルディエと「ピッチde PK対決」  
supported by アネクトホーム  
17:00頃 ダンスパフォーマンス!  
SHR DANCE STUDIO

**ホットタイム**  
-みんなで大興奮の瞬間を創ろう!  
17:10頃 プレーヤーズボイス  
17:15 ウォーミングアップ開始  
17:50 両チームメンバー紹介  
サポーターの歌「叫ばずにはられない」  
17:55 選手入場を盛り上げよう!!  
両チーム選手入場

18:00 KICK OFF

**飲食売店**

1 ALL SAITAMA	2 宮木牧場
2 JEST KEBAB	3 風の幸
3 KANCH	4 インドリ屋
4 いきなりステーキ	5 Y.S-KITCHEN
5 ジャンクガレッジ	6 グリーンバル
6 豚珍館	7 さいたま市公園緑地協会

**EVENT**  
北陸新幹線  
福井・敦賀開業を記念  
「つながる福井キャンペーン」  
をPR

**TODAY'S PICK UP!!**

**GOURMET**  
ジャンクガレッジ  
まぜそば  
850円(税込)

**宣伝隊 in 大宮**  
9.16  
大宮アルディージャ対戦  
NACK5スタジアム大宮  
福井の逸品が当たる抽選会を開催  
福井の逸品が当たる抽選会を開催

ブースでは公式Instagramをフォローいただいた方に福井の逸品がその場で当たる抽選会を実施。さらに福井の観光アンケートにご協力いただいた方にはノベルティも進呈します!

**各種施設・サービス**

飲食売店 グッズ売店 AED設置箇所 ファンクラブブース

※喫煙所の設置はありません。大宮公園やスタジアム周辺の禁煙区域での喫煙行為はご遠慮下さい。

**WE SUPPORT OMIYA ARDIJA**

NTT docomo | NTT東日本 | 武蔵野銀行 | 富士薬品 | しまむら | 武蔵コーポレーション | FRONTIER | UNDER ARMOUR

アイツ設計 | Asahi | ARCHE | オーナーズ SADA | KODEN | Coca-Cola | 埼玉トヨペット | stellar town | セブン-イレブン | 三日月

東武トップツアーズ | Panasonic Homes | 富士住建 | MOVIX 武蔵 | MOVIMENTO | EXEO | ACS 武蔵野グループ | 日本コムス | MIRAIT ONE

NTTアドメディア | NTTIME | NTTコムウェア | NTT DATA | NTT都市開発 | NITTExCIパートナー | NTTフジリサーチ | TeWe | 株式会社日本

大宮アルディージャ オフィシャル・マッチデープログラム 発行日: 2023年9月16日 発行: 大宮アルディージャ 〒331-8585 埼玉県さいたま市西区大宮4-25-3 大宮アルディージャ\*オレンジキューブ 制作: ELGOLAZO 撮影: 山田 勉、早草 紀子、高須 力

**大宮アルディージャを  
皆で応援しよう!**

武蔵コーポレーションは大宮アルディージャを応援しています。

アパート売るなら 武蔵コーポレーション 販売、買取、管理ならお任せください ©1998 N.O. ARDIJA

MUSASHI corporation × OMIYA ARDIJA

2023 J2 LEAGUE 第35節 vs ROASSO KUMAMOTO

**OMIYA ARDIJA**  
OFFICIAL MATCHDAY PROGRAMME

25<sup>TH</sup> ANNIVERSARY SINCE 1998

**ŚWIERCZOK**  
**10**

武蔵野銀行

NTT docomo

UNITE ONE 限界の先へ





誰も私からはボールを取れない

7月23日の第27節で大宮デビューを飾ったクバことシュヴィルツォクは、初先発となった翌節に加入後初ゴールをマークした。直接FKを鮮やかに突き刺したのだった。その後は得点から遠ざかるものの、本領発揮のために時間が必要なのは想定内だった。「大宮に来て最初の2週間ぐらいは、私がどのようにプレーするのかを、チームメートは良く分からなかったと思います。私自身も、一人ひとりの選手がどうプレーをするのか、良く分かりませんでした。けれど、練習や試合を重ねていくことで、お互いを理解できています。今は何の問題もありません。コンビネーションはすごくいいです」

コンディション維持には日々の食事も重要だ。クバは「ダイジョブ」と日本語で話した。「日本食も食べます。お寿司が好きですが、最近はイタリアンが多いかな。よく行くファミレスもありますよ」

前節のジュビロ磐田戦まで、7試合連続でスタメンに名を連ねている。直近の3試合のうち2試合はフル出場だ。ゲーム体力も磨かれているだろう。「試合を観てもらえれば分かると思いますが、状態は上がっています。コンディションはいいですよ。チームメートとも、練習からコミュニケーションをとって、お互いに要求し合っています。まだまだ暑さが厳しく

て、練習中はすごく暑い。ホントに暑い。でも、試合では問題ないです」

守備に軸足を置く[5-3-2]のシステムでは、十分なサポートを得られない場面が出てくる。その中で、対戦相手はクバを厳重に警戒してくる。オフザボールの局面でも激しい圧力をかけられ、ボールを取めると反則覚悟で止めようとする。

それでも、ピッチ上では冷静さを保つ。感情をはっきりと出すこともあるが、ポーランドで生まれ育った彼にはごく当たり前のことだ。苛立ちの表われではない。

「誰も私からはボールを取れない。ファウルでしか止められません」

こともなげにこう言う。184センチ、86キロの身体は、力強いうしろしなやかだ。ポストプレーや相手DFとの競り合いで、クバはどんなことを心にかけているのか。

「それはここでは言えません。これから対戦するDFがこの記事を読んだら、対策を講じられてしまうじゃないですか。私に言えることが一つだけあるとしたら、マッチアップするDFたちは私からボールを奪うチャンスはないということです」

第33節のモンテディオ山形戦、第34節の磐田戦でゴールネットを揺らしている。どちらもペナルティエリア内でパスを受け、相手GKとDFのポジションをしっかりと見極めて右足で流し込んだ。磐田戦ではファーストタッチが微妙に乱れたものの、慌てることなくフィニッシュへ持ち込んでいる。ペナル



PICKUP PLAYER'S INTERVIEW

FW 10 | シュヴィルツォク

文=戸塚 啓

「つねに目の前の試合に集中している」

出身地 ポーランド  
サッカー歴 ポロニア・レトム(ポーランド)▶1.FCカイザーズラウテルン(ドイツ)▶GKSレグニツァ(ポーランド)▶1.FCカイザーズラウテルン(ドイツ)▶サウサンプトン(イングランド)▶グルニウヅンチ(ポーランド)▶GKSチェヒ(ポーランド)▶ザグレブ・ディナモ(ポーランド)▶PFCルドルフ・コシエフスキ(ブルガリア)▶GKSレグニツァ(ポーランド)▶名古屋グランパス▶ザグレブ・ディナモ(ポーランド)▶大宮(23)  
EURO2020に出場経験のある元ポーランド代表FW。DFに囲まれてもボールを失わず、ボクサー内では積極的なシュートを狙う本格派ストライカー。

ティエリア内での落ち着きこそは、彼のクオリティの源と言ってもいい。ピッチ上さながらの冷静さで、クバは言う。「それが私の仕事だからです。あなたがこうして私にインタビューをしてくれることと同じです」

われわれはどのチームにも勝てる

自身のパフォーマンスには相応の手ごたえを感じているが、チームは長く厳しい状況にある。ここ5試合は勝利から遠ざかっている。

クバは落ち着いた口調で話す。

「私自身も他の選手たちも、落ち込んでいるところはありません。5試合勝っていないですが、終わった試合のことは振り返らなくてもいいと思います。残り試合があっていくつあるのか、残留圏との勝点差がどれぐらいなのか、前の試合に勝てなかったとか、自分たちは今、最下位だとかを、考える必要はありません。そういったものを気にすることなく、われわれはつねに目の前の試合に集中しています」

今節は20位のロアッソ熊本との直接対決だ。勝てば勝点差が「4」に縮まるが、負ければ勝点差は「10」に開いてしまう。クラブの命運を左右する6ポイントマッチだが、クバは表情を変えることなく語る。「勝つことです。勝つために必要なこと? 相手より多く得点を取る。それだけです。対戦相手がどこかではなく、すべての試合に勝たなければいけない。もっとも重要なのは、これまでの試合でも見せたように、どの

チームが相手でも勝てるところを見せるということです。私たちは最下位ですけれど、相手を怖がることはありません」

大宮に加入直後から、クバはチームメートを鼓舞してきた。勝利をつかめなかった試合後のロッカールームでは、一人ひとりに声をかけ、ヘッドダウンせずに次の試合へ向かっていこう、と励ましてきた。ポーランド代表として国際Aマッチ出場経験もある30歳は、気持ち切り替えることや最後まで諦めないことの重要性を、繰り返しチームメートに説いている。

今節は3試合ぶりのホームゲームだ。NACK5スタジアム大宮の雰囲気を知ると、クバは通訳が話し終えるのを待たずに答えた。

「いいですね、いいですね、すごくいい。ピッチとスタンドが近いのが気に入っています。陸上トラックがあるとこはちょっと……という感じなので、サッカー専用スタジアムはいいですね」

ここで記録した3つのゴールは、すべてアウェイゲームで決めたものだ。NACK5スタジアム大宮のファン・サポーターの前では、まだゴールネットを揺らしていない。

「世界のどんなチームでも、すべての試合に勝つことはできません。このチームの選手たちは、試合に負けても100パーセントの力を発揮しています。ファン・サポーターの皆さん、どうか私たちと一緒に戦ってください」

ホーム初ゴールをたたき出し、6試合ぶりの勝利を手繰り寄せる。J2残留へ向けて、背番号10がチームを牽引する。

PREVIEW OMIYA ARDIJA 重要な意味を持つ“6ポイントマッチ”

絶対に勝たなければいけない一戦だ。熊本はボール保持率が高い。[3-3-1-3]の「1」で全試合フル出場の平川怜が戦線離脱したが、チームのスタイルは変わらないと考えられる。相手のビルドアップの際に、そのスタートとなる3バックにどれだけ規制をかけられるか。アンカーが3バックの間へ落ちた際は、どのような立ち位置をとるのか。原崎監督は、守備のオーガナ

イズを整理したに違いない。第31節の仙台戦、第34節の磐田戦と、CKから失点している。それが決勝点となり、勝点を取り損ねた。FKなども含めて、セットプレーの対応も確認されているだろう。25年のクラブの歴史においても、重要な意味を持つ6ポイントマッチである。戦術的な要素はもちろん大切だが、球際で負けない、攻守の切り替えで上回る、ハードワークする、といった原理原則が問われる。「勝ち切る」という気持ちで相手を上回ることで、ホームの利もさらに際立つ。(戸塚 啓)



PREVIEW ROASSO KUMAMOTO 13戦勝利なしから抜け出せるか

今季の熊本は、7試合ごとに勝点13ずつ積み上げ、昨季を上回る勝点78を目標ラインに設定していた。しかし昨季と同じ勝点30でシーズン前半を折り返したにもかかわらず、後半に入り13戦勝利なし。現状を脱するには、勝点や順位の近い相手から勝利を奪う必要がある。直近は4連敗で失点も続いており、2試合連続無得点と攻撃にも課題がある。攻撃の回数を増やし、迫力を持ってゴールに迫れるかがカギだ。(井岸 貴志)

2023 明治安田生命 J2 LEAGUE MEIJI YASUDA J2 LEAGUE STANDINGS

順位	チーム	勝	分	敗	得点	失点	得失点		
1	FC町田ゼルビア	67	33	20	7	57	27	30	
2	ジュビロ磐田	61	34	17	10	61	38	22	
3	清水エスパルス	60	34	16	12	61	27	24	
4	東京ヴェルディ	59	34	17	6	45	25	21	
5	V・ファーレン長崎	54	34	15	9	58	43	15	
6	フアザロ岡山	51	34	12	15	7	43	38	
7	ヴァンフォーレ甲府	51	34	15	8	33	42	6	
8	ジェフユナイテッド市原・千葉	51	34	14	9	11	45	44	
9	大分トリニータ	50	34	14	8	42	46	-3	
10	サスノック群馬	48	32	12	8	36	30	6	
11	モンテディオ山形	48	34	15	3	36	51	49	
12	大宮アルディージャ	27	34	7	6	21	30	57	-27

OMIYA ARDIJA MEMBERS ①生年月日 ②前所属 ③身長/体重 ④大宮での今季のリーグ戦出場/得点

監督 Masato HARASAKI (1974/8/13 ②仙台)

GK 1 Takashi KASAHARA (1988/11/21 ②長崎 ③191/88 ④32/0)

DF 3 Shota OKAWA (1999/9/16 ②FC東京 ③171/65 ④34/0)

DF 4 Masato KAIJKE (2001/5/30 ②長崎 ③190/86 ④5/0)

DF 5 Niki URUKAMI (1996/11/11 ②甲府 ③178/76 ④22/1)

MF 6 Hisashi OHASHI (1996/12/1 ②金沢 ③183/72 ④8/0)

MF 7 Masato KODAMA (1996/9/17 ②水戸 ③178/73 ④31/0)

MF 8 Hiroki KURIMOTO (1990/6/16 ②オククラホマシティ ③180/80 ④18/0)

MF 8 Sota MINAMI (1995/7/23 ②磐田 ③173/69 ④22/2)

FW 9 Sota NAKANO (1995/7/23 ②磐田 ③173/69 ④22/2)

FW 10 Shvirtsok SWIERZOK (1992/12/28 ②ザグレブ・ディナモ ③184/86 ④8/3)

FW 11 Atsushi KUROKAWA (1998/2/4 ②町田 ③170/65 ④18/0)

FW 13 Ryo YAMAZAKI (2003/5/20 ②大宮U18 ③172/65 ④9/1)

MF 14 Hidetoshi MIYUKI (1993/5/23 ②湘南 ③175/60 ④9/1)

MF 15 Keisuke OYAMA (1995/5/7 ②大宮ユース ③174/67 ④19/0)

MF 16 Tetsuki ISHIKAWA (1991/7/10 ②甲府 ③174/68 ④14/0)

DF 17 Ryo SHINZATO (1990/7/2 ②長崎 ③184/73 ④25/0)

FW 19 ANGELOTTI (1998/4/27 ②柏 ③185/79 ④27/4)

DF 22 Rikuya MOTEKI (1996/9/27 ②愛媛 ③176/72 ④33/2)

FW 23 Ryo YAMAZAKI (1995/4/6 ②FC東京 ③187/84 ④5/0)

DF 25 Yuta HAKAMATA (1996/6/24 ②磐田 ③183/77 ④26/1)

FW 28 Takamitsu TOMIYAMA (1990/12/26 ②北九州 ③180/73 ④24/5)

MF 31 Raitsei ABE (2004/12/17 ②大宮U18 ③174/68 ④20/0)

MF 32 Fumiya TAKAYANAGI (2000/10/4 ②東洋大 ③172/65 ④28/1)

FW 33 Keisuke MURAI (2000/4/17 ②東洋大 ③170/65 ④24/2)

DF 34 Rio OMORI (2002/7/21 ②境球 ③186/79 ④9/0)

FW 35 Yuta MINAMI (1979/9/30 ②横浜FC ③185/82 ②2)

DF 37 Keisuke SEKIYUCHI (2001/9/24 ②西武台高 ③181/72 ④3/0) ※山形学院大所属

2種登録選手 GK 44 清水 飛来 (2006/5/30 ③187/87 ※大宮U18所属)

MF 45 種田 陽 (2005/4/28 ③170/61 ※大宮U18所属)

FW 10 Shvirtsok SWIERZOK (1992/12/28 ②ザグレブ・ディナモ ③184/86 ④8/3)

MF 11 Atsushi KUROKAWA (1998/2/4 ②町田 ③170/65 ④18/0)

FW 13 Ryo YAMAZAKI (2003/5/20 ②大宮U18 ③172/65 ④9/1)

MF 14 Hidetoshi MIYUKI (1993/5/23 ②湘南 ③175/60 ④9/1)

MF 15 Keisuke OYAMA (1995/5/7 ②大宮ユース ③174/67 ④19/0)

MF 16 Tetsuki ISHIKAWA (1991/7/10 ②甲府 ③174/68 ④14/0)

DF 17 Ryo SHINZATO (1990/7/2 ②長崎 ③184/73 ④25/0)

FW 19 ANGELOTTI (1998/4/27 ②柏 ③185/79 ④27/4)

DF 22 Rikuya MOTEKI (1996/9/27 ②愛媛 ③176/72 ④33/2)

DF 38 Shunya SUZUKI (2000/11/24 ②早稲田大 ③178/73 ④1/0)

MF 39 Ryo ZUMISAWA (1991/12/17 ②甲府 ③165/65 ④32/3)

MF 40 Ko SHIMURA (1996/4/27 ②北九州 ③186/90 ④0/0)

DF 41 Takahiro IIDA (1994/8/31 ②京都 ③180/73 ④3/0)

FW 42 Keisuke FUJII (2001/9/30 ②東海大高輪台高 ③174/72 ④0/0) ※東海大所属

DF 43 Rion ICHIHARA (2005/7/7 ②大宮U15 ③185/77 ④9/0) ※大宮U18所属

DF 46 Masato NUKI (2003/10/2 ②大宮U18 ③184/75 ④3/0)

FW 49 Tomoya OSAWA (2002/9/6 ②愛媛 ③175/72 ④5/1)

DF 50 Manabu WAKABAYASHI (2004/3/10 ②狭山ヶ丘高 ③196/83 ④0/0)

TODAY'S PICK UP!!

GOODS

グッズ情報の詳細はこちら

マッチデュークッション 1,320円(税込)

第35節 | No.41 飯田貴敬 選手

対戦相手と選手の背番号が入ったマッチデュークッションを2023シーズンのホームゲーム全試合で販売予定です。試合観戦の記念としてはもちろん、シーズンを通じて欠かさずコレクションして全種コンプリートを目指してください!

ガチャガチャグッズ [当たりつき]ブラインドチェキ(ポーズver.) 500円(税込)

人気のブラインドチェキがポーズver.で登場! “当たり”は選手直筆サイン&メッセージ入りをご用意! スマホケースの裏面や同時販売のチェキホルダーに入れば、いつでも推し選手と一緒に!

チェキホルダー 1,210円(税込)

推し選手の大切なチェキをきれいに守れるチェキホルダー! お気に入りのチェキを持ち運べるチェキホルダー付きです。

[NEW ERA]920 ARDIJA WASHED DENIM 4,400円(税込)

世界的なヘッドウェアブランド「NEW ERA」とのコラボキャップから、ライトな被り心地が特徴のベースボールキャップ[9TWENTY]が新登場! 男女問わず着用しやすいカジュアルタイプのウォッシュドデニムに、アルディージャのアイコンをデザインしました。アジャスタブル仕様でサイズ調整が可能なモデルです。

23 ベースボールシャツ(カレッジロゴ) 4,180円(税込)

ベースボールシャツにNEWデザインが新登場!! 全面はカレッジデザインで仕上げ、袖口は2023ユニフォームデザインモチーフを採用しています。簡単に羽織ることができて女性にも大人気なアイテムです。

『入会金OFFキャンペーン』新規サッカースクール生募集!!

好評につき期間延長 9月末まで

入会金 3,000円 → 0円

まずは無料体験から

お問合せ 大宮アルディージャサッカースクール事務局 school@ardija.co.jp 0570-003839 (土・日・祝日を除く12:00~19:00)

OMIYA ARDIJA 2023 FAN CLUB

選べる3つのカテゴリー!

個人会員 年会費 ¥3,300 (税込)

シニア会員 (60歳以上) 年会費 ¥2,200 (税込)

U-25会員 (25歳以下) 年会費 ¥1,100 (税込)

あなたのファンライフを楽しくする会員特典をラインナップ!

25周年記念フラッグ 1

25周年記念デザインオリジナルピンバッジ 2

25周年記念デザインオリジナルピンバッジ 3

ファンクラブ会員証

TICKET

デジタルチケット引換券

お申込はウェブ入会がおススメ!

詳しくはこちら